

指定管理者の管理運営に対する評価シート

所管課	市民文化スポーツ局スポーツ部 スポーツ振興課
評価対象期間	令和4年4月1日～令和5年3月31日

1 指定概要

施設概要	名 称	北九州市立本城陸上競技場等3スポーツ施設	施設類型	目的・機能
	所在地	八幡西区御開四丁目16番	I	— ②
	設置目的	スポーツの普及及び振興を図り、市民の心身の健全な発達及び明るく豊かな市民生活の形成に資する		
利用料金制	非利用料金制 ・ 一部利用料金制 ・ 完全利用料金制			
	インセンティブ制	有・無	ペナルティ制	有・無
指定管理者	名 称	スポーツパークパートナーズ本城共同事業体		
	所在地	福岡市南区大池一丁目23番15号		
指定管理業務の内容	1 管理運営に関する業務 ・受付、使用許可に関する業務（利用調整、許可に係る業務） ・清掃、警備、建物等保守点検業務 2 その他管理運営業務 ・事業計画書及び収支計画書の提出 ・関係機関との連絡調整 ・地域や類似施設との連携に関する業務 3 利用促進に関する業務 ・イベントや広報活動等による利用促進など 4 自主事業 ・市民のスポーツ振興に資する事業（スポーツ教室等）等の実施など			
指定期間	令和2年4月1日～令和7年3月31日			

2 評価結果

評価項目及び評価のポイント					
1 施設の設置目的の達成（有効性の向上）に関する取組み					
(1) 施設の設置目的の達成					
① 計画に則って施設の管理運営（指定管理業務）が適切に行われたか。また、施設を最大限活用して、施設の設置目的に沿った成果を得られているか（目標を達成できたか）。					
② 利用促進を目的としている施設の場合、施設の利用者の増加や利便性を高めるための取組みがなされ、その効果があったか。					
③ 複数の施設を一括して管理する場合、施設間の有機的な連携が図られ、その効果が得られているか。					
④ 施設の設置目的に応じた効果的な営業・広報活動がなされ、その効果があったか。					
[所見]					
【利用人員】（単位：人）					
区分	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
陸上競技場(1)	119,851	68,580	57,071	66,816	9,745
野球場(1)	22,773	10,007	15,912	24,915	9,003
運動場(1)	61,853	19,175	25,313	36,385	11,072
計	204,477	97,762	98,296	128,116	29,820
目標	205,000	160,000	162,500	165,000	
要求水準	200,000	144,000	144,000	144,000	
※ <input type="checkbox"/> ・・・評価対象年度					
【新型コロナウイルス感染症拡大に伴う休館日数】					
＜競技場＞	R2 年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言） R3 年度：93日（ ” ）				
＜野球場＞	R2 年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言） R3 年度：93日（ ” ）				
＜運動場＞	R2 年度：39日（新型コロナ緊急事態宣言） R3 年度：93日（ ” ）				
・利用者数 128 千人で、対前年比 130%、+30 千人となった。					
・新型コロナウイルス感染収束傾向により、昨年度と比較して利用者は増加したことが要因と考えられる。ただし、11 月から 3 月まで競技場の大規模改修工事により利用できなかったため、増加数は限定的であった。					
(2) 利用者の満足度					
① 利用者アンケート等の結果、施設利用者の満足が得られていると言えるか。					
② 利用者の意見を把握し、それらを反映させる取組みがなされたか。					
③ 利用者からの苦情に対する対応が十分に行われたか。					
④ 利用者への情報提供が十分になされたか。					
⑤ その他サービスの質を維持・向上するための具体的な取組みがなされ、その効果					

があったか。

【所 見】

【施設利用について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	93.2% (37.8%・54.4%)	96.5% (40.8%・52.4%)	98.2% (60.4%・37.8%)	89.9% (66.7%・23.2%)

【職員対応について】

満足度	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度
目標値	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上	95.0%以上
実績(とても良かった・良かった)	96.7% (45.9%・50.8%)	96.7% (45.9%・50.8%)	99.1% (68.5%・30.6%)	98.9% (73.3%・25.6%)

※ ・・・評価対象年度

- ・職員対応について、「とても良かった・良かった」が98.9%と職員対応については高い満足度を得られたが、施設利用については昨年度より8.3ポイント下げる結果となっている。
- ・施設利用についての満足度が目標値に達していないことについては、大規模改修工事前であることが影響したものと考えられる。
- ・行事予定をホームページへの掲載、競技場掲示板への張り出し、3ヶ月予定のチラシを置き、誰でもが行事を把握出来るようにしていることや、スタッフ教育によるホスピタリティあふれる接遇を心がけていることが主な要因と考えられる。

2 効率性の向上等に関する取組み

(1) 経費の低減等

- ① 施設の管理運営（指定管理業務）に関し、経費を効率的に低減するための十分な取り組みがなされ、その効果があったか。
- ② 清掃、警備、設備の保守点検などの業務について指定管理者から再委託が行われた場合、それらが適切な水準で行われ、経費が最小限となるよう工夫がなされたか。
- ③ 経費の効果的・効率的な執行がなされたか。

【評価の理由、要因・原因分析】

【維持管理経費】（単位：円）

区 分	【参考】 R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
委託料	9,053,241	15,397,690	15,379,760	17,711,760	2,332,000
修繕費	9,415,771	9,697,856	9,851,525	10,002,453	150,928
光熱水費	10,519,398	9,901,710	10,295,860	11,954,049	1,658,189
人件費	23,606,358	25,938,000	27,027,000	27,027,000	0
その他経費	10,666,180	3,425,356	2,774,501	3,474,970	700,469
合計	63,260,948	64,360,612	65,328,646	70,170,232	4,841,586

※ . . . 評価対象年度

- ・維持管理経費は前年度比で 4,842 千円の増加となった。
- ・全面打診点検を実施したことによる委託料の増加と光熱水費の高騰が主な要因と考えられる。

(2) 収入の増加

① 収入を増加するための具体的な取り組みがなされ、その効果があったか。

[所見]

【施設使用料収入】(単位:円)

区分	【参考】R1 年度	R2 年度	R3 年度	R4 年度	前年度比較
陸上競技場(1)	3,694,722	4,542,939	3,008,776	2,217,780	▲790,996
野球場(1)	1,889,247	1,749,180	1,881,112	2,202,443	321,331
運動場(1)	497,515	222,890	411,635	708,625	296,990
収入計	6,081,484	6,515,009	5,301,523	5,128,848	▲172,675

※ . . . 評価対象年度

- ・使用料収入は前年度比で 173 千円の減少となった。
- ・11 月から 3 月まで競技場の大規模改修工事により利用できなかったことが要因と考えられる。

3 公の施設に相応しい適正な管理運営に関する取組み

(1) 施設の管理運営(指定管理業務)の実施状況

- ① 施設の管理運営(指定管理業務)にあたる人員の配置が合理的であったか。
- ② 職員の資質・能力向上を図る取り組みがなされたか(管理コストの水準、研修内容など)。
- ③ 地域や関係団体等との連携や協働が図られたか。

[所見]

- ・管理責任者には、陸上競技場や芝生の施工管理に携わり、指定管理者業務の責任者としての経験を持つ者を配置している。
- ・内部教育として、陸上競技における備品の名称及び保管場所の教育を実施している。

(2) 平等利用、安全対策、危機管理体制など

- ① 施設の利用者の個人情報保護のための対策が適切に実施されているか。
- ② 利用者を限定しない施設の場合、利用者が平等に利用できるよう配慮されていたか。
- ③ 利用者が限定される施設の場合、利用者の選定が公平で適切に行われていたか。
- ④ 施設の管理運営(指定管理業務)に係る収支の内容に不適切な点はないか。
- ⑤ 日常の事故防止などの安全対策が適切に実施されていたか。
- ⑥ 防犯、防災対策などの危機管理体制が適切であったか。
- ⑦ 事故発生時や非常災害時の対応などが適切であったか。

[所見]

- ・安全管理のための指針の作成、全スタッフの巡回による危険箇所の予測・発見、「AED」操作を行う講習の受講、熱中症予防対策の実施(塩飴の無料配布、氷の無料配布、

競技場及びにミスト散水施設を完備、雷警報機による落雷予防対策の実施を行っている。

- ・防犯、防災対策について、きめ細かな巡回（利用状況に応じて実施。3～4回/日程度）、「防災計画」を作成して、年2回の消防・防災訓練を実施している。
- ・危機管理対策本部フロー図を作成し事務所内に掲示し周知している。

【総合評価】

[所見]

- ・利用者数は新型コロナウイルスの感染終息傾向による影響により、前年度比で30千人増加した。
- ・使用料収入は競技場の大規模改修工事により利用できなかったことにより、173千円の減少となった。
- ・利用調整を積極的に行い、施設を有効に活用し、収入確保に貢献した。
- ・スタッフ教育を行い、ホスピタリティあふれる接遇を心がけた。
- ・経験豊富な者を責任者と置き、施設を良好な状態に保つとともに、防災や熱中症対策に力を入れ、安全な施設運営に努めた。

[今後の対応]

- ・今後も、施設利用者や各団体等とコミュニケーションを密にし、利用者増、施設の利便性・満足度の向上に努めていただきたい。

